

サンゴ漁場調査

漁務研究部

目 的

近海漁場の不撓開墾を図るため、特に琉球珊瑚漁業協同組合からの要請によつて北部太平洋ミッドウェー近海の近海調査を実施した。

使 用 船 国南丸 159.31トン400HP

調 査 期 間 1965年11月8日～12月20日

乗 乗 人 員 国南丸乗組員 平良船長以下19人

調 査 海 域

北部太平洋ミッドウェー近海の北緯34°～14°～35°41' 東経171°～172°

調 査 概 要

表1 操業一覽表

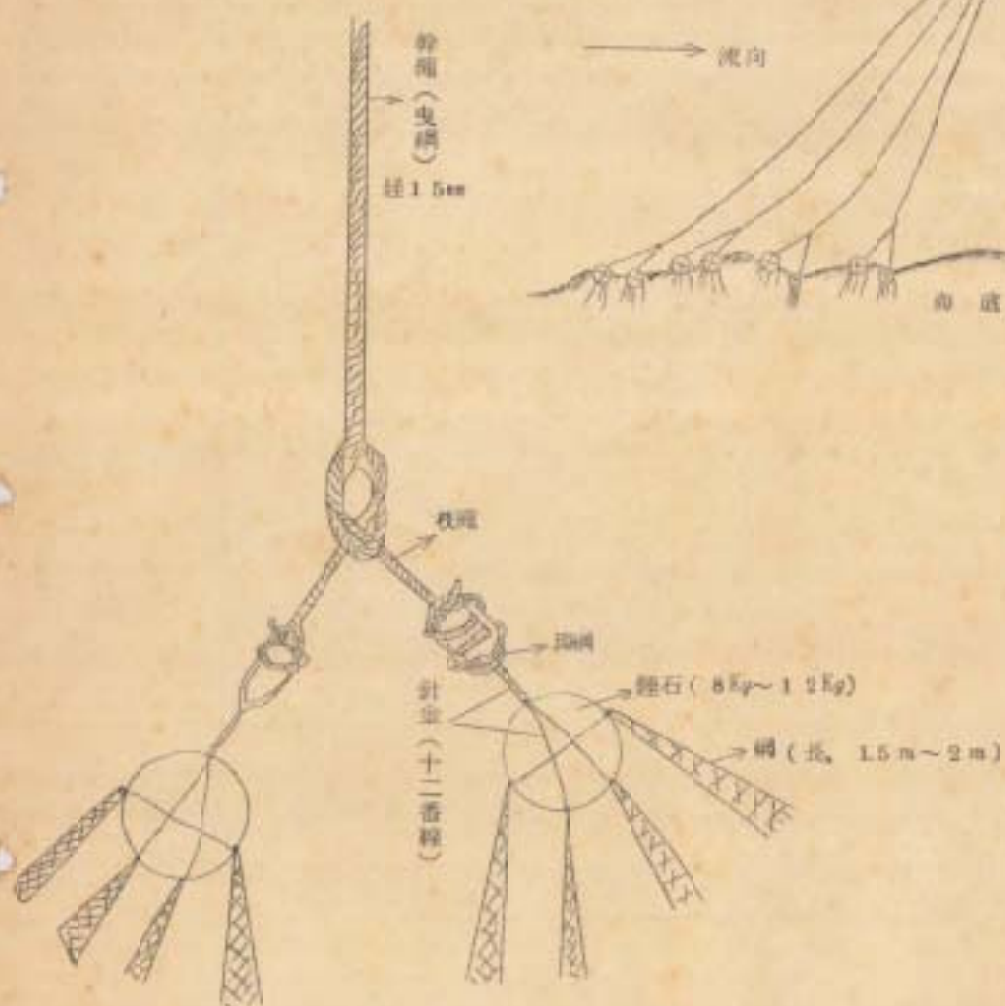
月 日	操業 回数	位 置		水 深	漁獲高	備 考
		経 度	緯 度			
11月21日	2	171°-42' E	35°-14' N	300m~350m	約15kg	台風避避のため 避航
11月22日	6	171°-28' E	35°-11' N	370m~500m	*	
11月23日	5	171°-26' E	35°-11' N	370m~510m	約30kg	
11月24日	6	171°-23' E	35°-13' N	370m~470m		
11月25日	5	171°-23' E	34°-14' N	380m~470m		
11月27日	3	171°-26' E	35°-12' N	390m~400m		
11月28日	4	171°-26' E	35°-15' N	380m~450m		
11月29日	8	171°-16' E	35°-38' N	370m~440m	約5kg	
11月30日	5	171°-26' E	35°-13' N	350m~450m		
12月1日	8	171°-27' E	35°-13' N	350m~430m	約3kg	
12月2日	5	171°-15' E	35°-41' N	380m~470m	若	
12月3日	8	171°-32' E	35°-11' N	350m~570m	*	
12月4日	6	171°-21' E	35°-11' N	340m~560m		
12月5日	6	171°-32' E	35°-21' N	360m~415m	*	
12月6日	8	171°-21' E	35°-21' N	420m~510m	約3kg	草類多し

表2 種類別水揚げ状況

種 別	数 量	比率
ボケ生木	23k250P	23.2%
薄ボケ生木	10k596P	10.5%
ボケ枯木	12k960P	12.9%
白生木	12k186P	12.1%
白枯木	24k870P	24.7%
枯木(黒)	16k506P	16.4%
計	100k356P	100%

漁具圖

操業想定圖



魚場図

凡 例 点線内が魚場で数字は水深(水深の未測定地域多し)

✦ 調査位置

✧ 魚獲の多かった場所

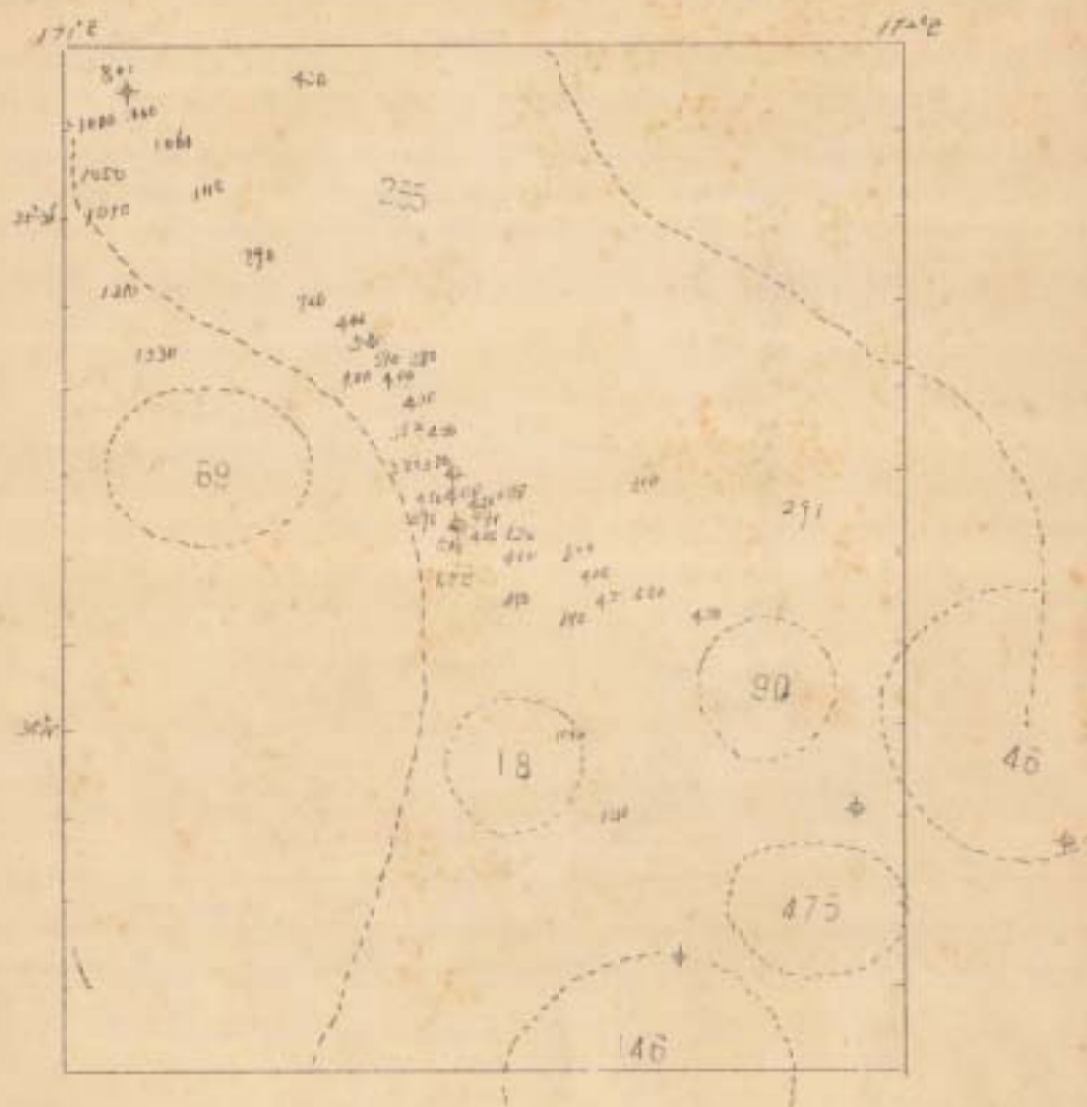


表 3 漁場附近の年間気象状況

月	最 多 風 向	17°E 28°N	最 多 風 速	風力 8 以上 の 頻 度
1	W 21%		3(18%) 4(18%) 5(18%) 6(18%) 9(24%)	10.9位
2	W(31%) SW(18%)		4(16%) 5(18%) 6(14%) 9(4%)	15.4位
3	W(23%) S(20%) SW(17%)		4(22%) 5(18%) 6(14%) 9(4%)	15.9位
4	SW(17%) S(15%) W(15%)		3(18%) 4(25%) 5(20%) 8(1%)	5.4位
5	S(18%) W(18%) SW(15%)		3(22%) 4(17%) 5(15%) 7(1%)	0~5.6位
6	S(20%) SW(15%) W(11%)		3(26%) 4(20%) 8(2%)	0.4位
7	S(25%) SE(21%)		2(17%) 3(31%) 5(2%)	0.6位
8	SW(20%) S(14%) SE(15%)		2(14%) 3(27%) 4(4%) 8(1%)	0.6位
9	W(20%) SW(15%) N(11%)		2(14%) 3(23%) 4(25%)	0~0.5%
10	S(15%) W(11%) SW(12%) SE(12%)		3(21%) 4(28%) 5(10%) 8(1%)	0~5.1%
11	W(20%) NW(19%) SW(14%)		3(15%) 4(10%) 5(24%) 6(12%) 9(1%)	5.6位
12	W(25%) S(18%) NW(16%)		4(20%) 5(19%) 6(17%) 9(1%)	15.9位

※ 気圧千均記録

12月~2月(35°N 174°E) NE(47%) E(42%)
(37ノット) (31ノット)3月~5月 NE(45%) E(40%)
(30ノット) (28ノット)9月~11月 NE(38%) S(35%)
(17ノット) (26ノット)※ U. S. Department of the Navy Weather
bureau Hydrographic office climatological
and Oceanographic atlas for mariners.

所 感

今次調査の水温は僅かなものだが、所期の目的を果し得たと思う。即ち漁場を確認した事。本土
土産物の漁獲状況等見受け、その実情を関係業者に報告した。その結果、通關の船舶も3隻

設備を並へ同方面の漁場へ出漁し、総水揚げ 800 Kg 余のサング原木を土産に帰港している。
然しながら当漁場も次の如き欠点があり一考を要する。

1. 漁場が広い
2. 気象条件の良い時季を選定せねばならぬ。或るべく 11 月から 3 月までの 5 ヶ月間の操業は見合せる必要がある。此の期間には風力 8 以上の頻度が 5 回～15 回もあつて航行操業上危険がある。(今回の往航時も低気圧に遭遇し約 10 時間危険状態が続いた。) 参考のために表 3 を記載した。
3. 時化られた場合附近に避難場所がない。
4. サング原木は沖縄産より質が悪く腐蝕面で叩かれる虞れあり。